

先生・お薦めの一冊

## 『スローカーブを、もう一球』

山際 淳司 著 (角川文庫)

地歴公民科 當房 哲也 先生

「トキヨ (東京) !」IOCロゲ会長の言葉に震撼した記憶は、いまだ新しいところであろう。2020年東京オリンピック開催決定。その瞬間、皆さんは何を思っただろうか? 「生でオリンピック競技が見られるかも」、「久方ぶりに明るいニュース」、「経済効果を含め、日本復活の礎になる」など様々な期待が膨らんだことと思う。しかし、その中において「自分もオリンピックに出られるかも!」と思った人がどれだけいたであろうか? 「参加することに意義が・・・」とはいいながら、激しい国内予選を勝ち抜くのは困難なことであり、諦めてしまうというか、最初から考えもしないのが実情だろう。この本に収められた10編の実話の一つに、本気でオリンピック出場に挑戦した青年の話が出てくる。

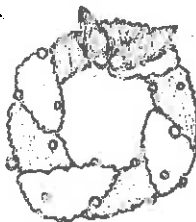
3浪して挑んだ東大進学をあきらめ、別の大学に進んだものの、うだつが上がらぬ麻雀三昧の日々。そんな体たらくの自分から脱却し、プライドや自信など失ったものを取り戻すべく、その青年がめざしたのがオリンピックだった。高校ではサッカー部に所属していた彼が新たに挑んだ競技は、様々な打算の末に「一人漕ぎボート」だった。全くのゼロからのスタート。それは、愛車を処分して自分専用のボートを購入すること、痔の手術を受けるなんてところから始まっていった。悪戦苦闘しながら、自分なりの戦略を描き、ついには国体優勝まで果たして・・・。その先は読んでのお楽しみ。

自分の人生や将来のシナリオ、完全受身の既定路線や安易な現実路線に染まっていないか。バラ色とはいわないまでも、あまりにも無味乾燥なイメージでは情熱も燃えてこない。今からでも遅くない。本気でめざし、戦略をもって全力で取り組みれば、可能性は大きく開けていく。少なくとも、人生がよりドラマチックで生き生きとしたものになることは間違いないだろう。被害者意識の様な勘違いした気持ちのなかで、仕方なく受験に向かっているような高校生に是非読んでもらいたい作品である。人生 (歴史) の主役は自分、自分で作っていくもの。



\*當房先生の紹介してくださった短評は、『スローカーブを、もう一球』の中の『たった一人のオリンピック』です。

## 冬休みの利用について



### ・冬休み特別貸し出しについて

12月22日 (月) ~ 12月26日 (金) → 貸出冊数\*ひとり5冊まで 返却日\*1月9日 (金)

### ・学習室の利用について

12月27日 (土) ~ 1月4日 (日) → 8:30~16:30

\*昼食のための複合貸室開放は、12:00~13:00です。

\*冬休み中は、掃除ができません。消しゴム等の始末は、必ず各自でゴミ箱に捨ててください。

\*次の日も気持ちよく使えるように・・・後片付けをしっかりとってください!

# 冬の読書

## 『買者の贈りもの』オー・ヘンリー 著 (岩波書店・他)

取りあえずのプレゼント、贈っていませんか？相手を思いやることの大切さを教えてくれる、心温まる一冊です。

## 『蜜柑』芥川 龍之介 著 (新潮社・他)

成層った冬の日暮である・・・寒々しい書き出しで始まる芥川中期の小品です。気難しそうな主人公の「私」は芥川自身でしょうか。ほんの数ページの小品ではあるものの、主人公の心の変化が見事に描かれています。どんよりとした冬景色の中に投げられた蜜柑が、主人公の気持ちをどう変えてしまうのか・・・さすが芥川！と思える作品です。

## 『ダイヤモンドダスト』南木 佳士 著 (文芸春秋)

様々な過去を背負う人々の最期に立ち会う看護師の和夫。医者でもある著者が、実際に見た医療の現場を舞台に書き上げた芥川賞受賞作品です。将来、医療関係へ進みたいと思っている人たちにお薦めの短編集です。

## 『あるクリスマス』トルーマン・カポーティ 著 (文芸春秋)

ある少年のクリスマスの思い出を、村上春樹の訳で綴ったものです。6歳の少年の孤独が、クリスマスという華やかな場面で浮き彫りにされます。山本容子さんの版画も楽しめる一冊です。

## 『鉄道員』浅田 次郎 著 (集英社)

高倉健主演映画『鉄道員』。降りしきる雪の中で電車に敬礼する健さんが印象的でした。



## 11月の統計

4月の貸出総数	547冊	5月の貸出総数	667冊	6月の貸出総数	226冊
7月の貸出総数	416冊	8月の貸出総数	119冊	9月の貸出総数	394冊
10月の貸出総数	324冊	11月の貸出総数	425冊		

学年	1年								2年								3年							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
貸出数	3	11	44	7	0	2	10	3	7	39	11	10	72	15	9	29	17	11	4	6	73	15	1	26
合計	80冊								192冊								153冊							

本校の冬の貸し出しは、小論文などに必要な本が中心です。そのため、利用者のほとんどが3年生です。この時期、3年生の皆さんは読書を楽しむ時間などありませんが、それぞれの希望する学部学科に関する本をこつこつ読んでいます。1・2年生の皆さんも、今のうちからいろいろな分野の本を少しずつ読んでおきましょう。もちろん、物語もたくさん読んでください。いつかきつと読んでいて良かった・・・と思える日が来るはずですよ。

**お気づきですか？** 学習室の入り口に飾られた写真。先月から科学部写真班の作品をお借りして飾っています。強者揃いの科学部写真班、さすがだな！と思う作品ばかりです。レンズ越しに切り取った一瞬の風景、その感性と美意識の高さに脱帽です。次はどんな写真が飾られるのでしょうか。

## 編集後記

冬將軍の到来です！この時期の学習室は、センター試験に向けて頑張る3年生で満員です。その中に、数名の2年生も見受けられます。上級生の学ぶ姿を見ながら、自らを高めていく。これこそが、図書館学習の本当の姿なのかもしれません。当房先生お薦めの『スローカーブを、もう一球』は短編集ではありますが、読み応えのある本です。特に、野球好きの皆さんには読んで頂きたい一冊です。当房先生、有難うございました。

3年生の皆さん、風邪など引かれませんかように！ファイトです！

\*今月号のイラストは1年図書委員のSさんが担当しました。

